

音楽とは 横への感性なり!

合唱団ホームページアドレス
<https://www.wiengifu.org>

4月号

2022年4月1日
編集・発行
ウィーン岐阜合唱団



祝



ウィーン岐阜管弦楽団のコンサートマスター 平光 真彌 氏
中部フィルハーモニー交響楽団の常任客演コンサートマスターに4月より就任

【中部フィルハーモニー交響楽団】

「音楽芸術文化の振興と向上」を図ることを目的に、2000年小牧市交響楽団として設立。
2007年中部フィルハーモニー交響楽団へ改称。

小牧市を拠点に「地域に根差したトップクラスのオーケストラ」を目指して、主に中部圏で精力的に演奏会を開催するプロオーケストラ。

定期演奏会では古典から近代まで幅広く、ツィクルス（同一作曲家の連続演奏）や新作の初演を行うなど挑戦的でバラエティに富んだ企画と併せて、アンサンブル力や情熱的な演奏で高い評価を得ている。また、演奏はナクソス・ミュージック・ライブラリーから世界に向け発信され、聴くことができる。

これまでに愛知県芸術文化選奨新人賞などを受賞し、「多年にわたる地方自治の発展への功績」に対し、愛知県より感謝状を授与された。現在、秋山和慶氏が芸術監督、飯森範親氏が首席客演指導者を務める。秋山氏は、ベルリンフィルのオファーを受けたり、カナダトロント交響楽団の音楽監督を歴任するなど、世界的な指揮者。

ウィーン岐阜管弦楽団・合唱団の音楽総監督平光保氏は、秋山先生の愛弟子で飯森氏は桐朋学園時代の同窓生。中部フィルのメンバーは、ウィーン岐阜管弦楽団にこれまで多数応援に駆けつけてくださっています。

私とウィーン岐阜合唱団

岐阜アルト 中島 尋江

ウィーン岐阜合唱団との出会いは、2009年1月で、新聞で『水のいのち』の練習を始めるとの記事を見つけ、さっそく見学にいきました。しかし、その直後に母が倒れて入団はできませんでした。それから1年後、友人に誘われて入団にすることになり、入団から早11年。なぜこの合唱団でこんなに続けることができたのでしょうか。今回はその理由を考えてみることにしました。

1. 大曲をオケ伴奏で歌うことができる

ベートーヴェンの『第九』、フォーレの『レクイエム』、モーツァルトの『戴冠ミサ』、佐藤眞『土の歌』、高田三郎『水のいのち』などです。オケ伴奏でこれらの大曲を大勢で全曲歌えることが魅力です。

2. 少しずつ合唱が仕上がる楽しさと、最後に感動が味わえる

ドイツ語、英語、ラテン語、リトアニア語(?) etc.

言葉の発音が難しい。その難しい言葉をメロディーにのせるのが難しい。楽譜に目をこらして歌うだけで必死。先生の指揮に合わない。周りの音まで気が回らない。

それが練習を重ねると周りが聞こえてきて、タイミングを合わせたり、バランスを考えたり、響き合いの美しさを感じながら歌ったり、気持ちを含めたり…。なんて心地の良いことでしょう。しかし、ここからもうひと山超えなくてはなりません。

それは暗譜です。これがいつも苦痛です。その苦痛を乗り越えて、いよいよ本番。よくここまでできるようになったなあ。みんな頑張ったからね。

歌い終えた時の達成感や感動は最高です。

3. ヨーロッパ音楽・友好の旅がある

若い頃より、ヨーロッパ音楽の旅が夢でした。ハンガリー2回、ロシアとエストニア、リトアニアとポーランド、計4回も演奏旅行に参加できました。

オーストリアの温泉保養地バーデンでのことです。モーツァルトと妻のコンスタンツエが時々訪れていた所です。ここには小さな教会があり、モーツァルトの直筆の楽譜が飾



ってあります。『アヴェ・ヴェルム・コルプス』です。

私たちはその教会でその曲を合唱しました。すると、この教会にお祈りに来ていた杖をついた老夫婦が涙を流して聴いてみえました。音楽(合唱)が、私達と聴いてくれた人達をつないでくれました。

ポーランド、ワルシャワのことです。なぜかあちらでもこちらでも工事をしていた歩きづらいまちでした。

ポーランドは諸外国から何度も侵略、分割され、123年もの間、世界から消えていました。ポーランドの人々は、独立を願って耐え、戦い続けました。第一次世界大戦後やっと独立できましたが、第二次世界大戦でワルシャワは破壊され、戦後、市民の手で昔の街並みに復元されました。その工事がなんと70年以上続いていたのです。

ポーランド人の祖国愛は凄い。驚きです。

ショパンは、若い頃、ワルシャワで幸せに過ごし、20歳の時、ウィーンにいました。その時、ワルシャワで民衆による独立運動が起こり、ショパンはすぐにでも帰りたかったようですが、家族に説得されて諦めました。この時に作曲されたのが、『別れの曲』だそうです。祖国への思いや決別の思いが伝わってくる美しい曲です。ショパンはその後、パリに住み、大成功をしましたが、心はポーランドに。『ポロネーズ』や『マズルカ』はポーランドへの思いを込めて作曲されています。ショパンは自分の亡骸をポーランドに戻してほしいと遺言で残し、心臓は遺言通りにワルシャワの聖十字架教会に眠っています。彼のポーランドへの強い思いは、123年もの間独立を願い戦い続けた人々や昔の街並みに復元している人々のそれと全く同じ思いだと感じ、今回ポーランドを訪れ、はじめてショパンの祖国に対する熱い思いが理解できたような気がしました。

実際に作曲家が生きた場所に行き、見聞することにより、より身近に、曲の素晴らしさを深く感じるようになりました。

合唱団のヨーロッパ音楽・友好の旅は、若い頃に夢見ていた以上に、ここに書ききれないほど素晴らしい経験ができた旅でした。そして、今、私の宝物です。

ウィーン岐阜合唱団で、11年も続けてこられた理由は、他にも家から練習会場が近いこと、たくさんの素敵な仲間に出会うことができたこと、家族の理解と支えがあったことなど、いろいろあります。条件が許す限り、もう少し頑張ってみようと思います。



～♪ 2021年4月に入団いたしました ♪～

岐阜アルト 小原 奈未

子供の頃から音楽の授業で歌う“大地讃頌”などの合唱が好きでした。大人になってからも機会があれば合唱に参加し、20年以上前になりますが、“第九”やモーツァルトの“レクイエム”を歌いました。最近、息子の学校の保護者でつくるママさんコーラスに参加して楽しんでいたのですが、このウィーン岐阜合唱団に出会えて、これこそ私が求めていた合唱団だと思いました。ママさんコーラスではできなかった混声で歌えること、クラシックの合唱が歌えること、オーケストラと共演できることなど。

平光先生の妥協されない高いレベルの音づくり、緊張感はあるけど団員のみなさまの温かい雰囲気、この絶妙なバランスが私には大変心地よく、この合唱団に入団することができて感謝の気持ちでいっぱいです。これからもよろしく願いいたします。

4月～6月 練習予定

練習時間・練習場所・体制等は、変更になることもありますので、ご注意・ご了承ください。

開始時間少し前に集合しましょう

平日 夜の教室 (18:30 ~ 20:30)		日曜 昼の教室(14時~16時)	
月日	岐阜	月日	大垣
4月7日(木)	長森コミュニティーセンター	4月8日(金)	大垣市南地区センター
4月14日(木)	〃	4月15日(金)	〃
4月21日(木)	〃	4月22日(金)	〃
4月28日(木)	〃	5月6日(金)	〃
5月12日(木)	〃	5月13日(金)	〃
5月19日(木)	〃	5月20日(金)	〃
5月26日(木)	〃	5月27日(金)	〃
6月2日(木)	〃	6月3日(金)	〃
6月9日(木)	〃	6月10日(金)	〃
6月16日(木)	〃	6月17日(金)	〃
6月23日(木)	〃	6月24日(金)	〃
		4月3日(日)	ときめきホール
		4月10日(日)	〃
		4月24日(日)	〃
		...	
		5月1日(日)	ときめきホール
		5月8日(日)	〃
		5月22日(日)	〃
		6月5日(日)	ときめきホール
		6月12日(日)	〃
		6月26日(日)	〃

お知らせ

☆ 岐阜県歯科医師会8020運動CMソング に ウィーン岐阜合唱団 (12名) が合唱と演技で出演
♪オ～ラルフレイル 知ってるかい～ むせるの～ こぼすの～ 噛めないの～ (^^♪
令和4年5月1日より1年間、ぎふチャン (テレビ 8チャンネル) の
ゴールデンタイム (午後7時～10時、不定期) に、CMが放映されます。

☆ New Year Concert (2022.1.27) のDVD&Blu-ray ⇒ 3,300円にて発売
高音質・高画質で収録されてます。また、付録として写真データがついてます。
是非、あの感動をもう一度。ご希望の方は、田中智恵美：090-1626-8697 まで

広報より 皆様からのご意見・ご投稿をお待しております。ご投稿・ご質問等は下記までお問い合わせ下さい。

坂井 俊郎 mail: sakai_gifu@yahoo.co.jp 090-7041-9133

高橋なお子 mail: wien.chorus@gmail.com 090-9933-0374